

あなたの教養を高める講座があります

ひょうご講座

2012年9月開講

ひょうご・いづみ・ひょうご講座

- 大学教養レベルの生涯学習講座
- 科学技術、伝統藝術、国際経済、国際理解、地球環境、歴史の六科目で受講者募集中

2012年度 募集要項

お問い合わせ (公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構 TEL. 078・262・5714 FAX. 078・262・5122

webで確認

ひょうご講座

検索

<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>

ひょうご講座2012とは

目 的

- ・ 県民の皆様に、専門的な大学教養レベルの生涯学習を提供するために、兵庫県内の大学や研究機関等と連携して、兵庫ゆかりの講師陣等による独自の講座を開講します。

科 目 数

- ・ 6科目
- ・ 各科目とも、週1回、同一曜日に10回連続の講義

開 催 時 期

- ・ 平成24年9月上旬～11月下旬

時 間

- ・ 火、木、金 18:30～20:00(90分間)

場 所

- ・ 兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3)
- ・ 地下鉄「県庁前」駅下車すぐ

定 員

- ・ 約40名(各科目)
- ※先着順に受付、定員になり次第、締め切ります。

受 講 料

- ・ 15,000円

多彩なジャンルから6科目を提供します！

火曜コース **【国際経済】 混迷する世界経済の行方**
【国際理解】 アジアの時代と日中関係

木曜コース **【伝統芸術】 伝統芸術の過去・現在・将来**
【科学技術】 自然及び人工災害に接して：自然・科学・技術を考える

金曜コース **【歴 史】 兵庫・神戸を中心とした古代・中世史**
【地球環境】 兵庫の大地と私たちの暮らし

変貌するグローバル経済を専門家と共に熟思する

混迷する世界経済の行方

火曜コース	テーマ	担当教員
1	9/4 日本の財政問題	玉岡 雅之 神戸大学経済学研究科准教授
2	9/11 回復途上のアメリカ経済	地主 敏樹 神戸大学経済学研究科教授
3	9/18 危機を脱するかEU経済	久保 広正 神戸大学経済学研究科教授
4	9/25 ユーロ危機:原因とその影響	藤田 誠一 神戸大学経済学研究科教授
5	10/2 韓国経済とグローバル戦略	高 龍秀 甲南大学経済学部教授
6	10/9 アジア経済の現状と展望	金京 拓司 神戸大学経済学研究科教授
7	10/16 ブラジルの経済成長の要因と課題	濱口 伸明 神戸大学経済経営研究所教授
8	10/23 中国の経済成長は持続可能か	梶谷 懐 神戸大学経済学研究科准教授
9	10/30 インド経済の課題と展望	佐藤 隆広 神戸大学経済経営研究所教授
10	11/6 ロシア経済の行方/講座総括	吉井 昌彦 神戸大学経済学研究科教授

内容紹介 コーディネーター 吉井 昌彦 神戸大学経済学研究科教授

グローバル経済は21世紀に入り大きく変貌しています。先進国はグローバル金融危機に揺さぶられ、出口を見出せないでいます。欧州のソブリン危機はその代表でしょうし、対GDP比でギリシャを上回る国債発行残高を有する我が国の危険度は実はさらに高いのかもしれませんが。他方、1980年代後半から脚光を浴び始めたNIES(新興工業経済地域)の韓国、シンガポール、あるいは2000年代に言われ始めたBRICsやその後を追う新興国の経済発展はその歩調を緩めようとはしていません。本講座では、このような先進国経済の問題点とともに、新興国経済の発展の姿とその問題点を概観することによって、21世紀のグローバル経済のあり方を皆さんとともに考えたいと思います。

大国中国が抱える問題とこれからの日中関係を考える

アジアの時代と日中関係

火曜コース	テーマ	担当教員
1	9/4 勃興するアジアと中国	野尻 武敏 神戸大学名誉教授・神戸社会人大学学長
2	9/11 チベット問題にみる中国の危機 -日本のより良き未来に向けて-	劉 燕子 作家・現代中国文学者
3	9/18 ロシア・欧州から見たアジア-特に日中の姿と心-	川西 重忠 桜美林大学北東アジア総合研究所所長
4	9/25 現代中国の言論空間	及川 淳子 桜美林大学北東アジア総合研究所客員研究員・法政大学客員学術研究員
5	10/2 中国の食料問題と日本への影響	敵 善平 同志社大学大学院教授
6	10/9 人口高齢化の厳しい関門	伊原吉之助 帝塚山大学名誉教授
7	10/16 日中関係と孫文	安井 三吉 神戸大学名誉教授・孫文記念館館長
8	10/23 日中企業の経営比較	徐 方啓 近畿大学経営学部教授・近畿大学経営イノベーション研究所所長
9	10/30 台湾海峡兩岸の現状	本田 善彦 ジャーナリスト
10	11/6 成熟期に入った中国経済と今後の課題 -日中の分業と競合の構図-	安室 憲一 大阪商業大学総合経営学部教授

内容紹介 コーディネーター 安田 啓二 神戸社会人大学 常務理事

大国中国は勃興するアジアの行方を左右する影響力のある存在となっています。一方、中国国内では急速な経済発展とともに、様々な社会問題に直面しています。様々な課題を抱えた中国と日本はこれからどう付き合っていくべきか、政治、経済、社会等の多様な角度から解説するとともに、皆さんと一緒に考えて行きたいと思えます。※この科目は、神戸社会人大学と関西日中関係学会の協力で開催いたします。

伝統藝術の過去・現在・将来

日本の伝統藝術を再考し、その神髄にせまる

木曜コース

テーマ

- 9/6 世界史の中の伝統藝術
- 9/13 平家物語と雅楽
- 9/20 浄瑠璃の起源神話
—『道薫坊伝記』と人形の遊回リ—
- 9/27 いけばなとフラワーアレンジメント
- 10/4 連歌と藝道
- 10/11 日本の漆藝
- 10/18 陰陽五行と伝統藝術
- 10/25 利休から織部
- 11/1 鉄斎とセザンヌ —東西伝統の接点—
- 11/8 藝術と藝道 —伝統の古今東西—

担当教員

- 倉澤 行洋 文学博士・宝塚大学大学院教授
- 寺内 直子 文学博士・神戸大学国際文化学部教授
- 木下 資一 神戸大学国際文化学部教授
- 鈴木 榮子 芸術学博士・宝塚大学大学院講師
- 影山 純夫 神戸大学国際文化学部前教授
- 井尻 益郎 圓山記念日本工芸美術館館長
- 関根 秀治 芸術学博士・宝塚大学大学院講師
- 木津 宗詮 茶道武者小路千家流家元教授
- 山岸 恒雄 芸術学博士・画家
- ホルスト・S・
ヘンネマン 哲学博士・宝塚大学大学院教授

内容紹介

コーディネーター 倉澤 行洋 宝塚大学大学院教授・神戸大学名誉教授

いま世界の歴史は大きな転換の時期を迎えており、世界の中における東洋の重味がいやおうなしに増してきております。このような時代背景を念頭に置きながら、伝統藝術を多方面から、また広い視野から皆さんとともに考えてゆきたいと思っております。

人類が手にした科学技術と未来の姿を
専門家と熱く議論する自然及び人工災害に接して：
自然・科学・技術を考える

木曜コース

テーマ

- 9/13 われわれの生きる科学技術社会
- 9/20 福島原発事故とは何だったのか I
- 9/27 福島原発事故とは何だったのか II
- 10/4 放射線とは高エネルギー粒子である
- 10/11 原子炉のエネルギー源
- 10/18 宇宙と地球と多様な元素
- 10/25 なぜ今回の超巨大地震は予想できなかったのか？
- 11/1 全地球史が教えてくれる自然と災害
- 11/8 あらかじめ設定された問題を中心にした討論
- 11/15 市民として科学をどう認識するか

担当教員

- 太田 雅久 甲南大学マネジメント創造学部教授
- 山本 常夏 甲南大学理工学部教授
- 山本 常夏 甲南大学理工学部教授
- 秋宗 秀俊 甲南大学理工学部教授
- 秋宗 秀俊 甲南大学理工学部教授
- 富永 望 甲南大学理工学部准教授
- 林 慶一 甲南大学理工学部教授
- 林 慶一 甲南大学理工学部教授
- 講演者全員
- 太田 雅久 甲南大学マネジメント創造学部教授

内容紹介

コーディネーター 太田 雅久 甲南大学マネジメント創造学部教授

湯川秀樹氏の言う「科学の信頼性と限界」、朝永振一郎氏の「科学のあり方は変わるべきだ」というメッセージと、科学技術立国として国威をかけて応用部門に資金が投じられている現状をいかに認識し、高度科学技術社会を受け入れ、更に発展させていこうとする人類の将来に目を向ける機会にしたいと思っております。地震と原子力災害による甚大な被害をうけておよそ1年を経過した現在、多くの予期しなかった難問に直面し、あらためて科学技術の政治・経済システムへの複雑で奥深い関連が見え始めています。この講座では、人類の手にした技術というものを歴史的に考え、その発展の先端にある現在の技術が人類をどの方向に導こうとしているのか、或いは導かれざるを得ないのかについても議論したいと思います。

海からつながる兵庫の歴史を知る

兵庫・神戸を中心とした古代・中世史

金曜コース	テーマ	担当教員
1	9/7 難波宮と大阪湾	古市 晃 神戸大学大学院人文学研究科准教授
2	9/14 播磨国風土記の世界	坂江 渉 神戸大学大学院人文学研究科特命准教授
3	9/21 『源氏物語』須磨・明石の巻	福長 進 神戸大学大学院人文学研究科教授
4	9/28 清盛と大輪田泊	高橋 昌明 神戸大学名誉教授
5	10/5 『平家物語』について	樋口 大祐 神戸大学大学院人文学研究科准教授
6	10/12 楠木正成と湊川	市澤 哲 神戸大学大学院人文学研究科教授
7	10/19 日明貿易と兵庫津	藤田 明良 天理大学国際学部教授
8	10/26 兵庫北関からみた瀬戸内海と物流	藤田 裕嗣 神戸大学大学院人文学研究科教授
9	11/9 信長と荒木村重	野田 泰三 京都光華女子大学人文学部教授
10	11/16 秀吉の楽市令	村井 良介 神戸大学大学院人文学研究科特命助教

内容紹介 コーディネーター 高橋 昌明 神戸大学名誉教授

大阪湾・瀬戸内海に面した兵庫県南部は古く豊かな歴史をもっています。清盛や楠木正成は著名人物ですが、瀬戸内水運の要とでもいべき大輪田泊・兵庫津を擁しており、それは東アジア世界ともつながっていました。文学の面では『平家物語』に登場するのは当然ですが、『源氏物語』前半のハイライト場面でもある須磨・明石の巻も忘れてはなりません。信長・秀吉とも深い関係があります。これらを学ぶことで、ご自分の生活する周辺の景色が、これまでと違ったように見えてくることでしょう。

変動する地球、地域の成り立ち、人との関わりを読み解く

兵庫の大地と私たちの暮らし

金曜コース	テーマ	担当教員
1	9/14 大地・大気・生命の進化が作り出した今の地球環境	先山 徹 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所准教授
2	9/21 岩石に残る地球の磁場、そこからわかること	井口 博夫 兵庫県立大学 環境人間学部教授
3	9/28 都市の地下構造と人の暮らし	三田村宗樹 大阪市立大学理学部教授
4	10/5 活断層を知る：大地をつくる働きと地震災害	加藤 茂弘 兵庫県立人と自然の博物館主任研究員
5	10/12 今こそ、知って欲しい！地球の営み（災害と恵み）	森永 速男 兵庫県立大学防災教育センター教授
6	10/19 日本海の形成がもたらすジオの恵み	松原 典孝 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 特任助教
7	10/26 スウィーツカフェ ー石だけじゃない山陰海岸ジオパークの魅力ー	藤本 真里 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所助教
8	11/2 地域づくりと「ジオ」 ージオの目での持続的な地域をつくらうー	河本 大地 神戸夙川学院大学観光文化学部講師
9	11/16 ジオ多様性と文明	原田 憲一 特定非営利活動法人シンクタンク 京都自然史研究所 特別研究員
10	11/30 ジオパーク、兵庫の大地と暮らしの物語	先山 徹 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所准教授

内容紹介 コーディネーター 先山 徹 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所准教授

46億年前に地球が誕生して以来、大地（ジオ）と生命は互いに影響しながら現在の地球環境を作ってきました。一方、人間は地球からの多くの恵みや災害など、大地と付き合いながら街や暮らし・文化を作り出してきました。近年各地で進められているジオパークは、そのような人と大地の関わりをツーリズムや生涯学習等を通して地域づくりに活かそうとするものです。ダイナミックな地球の動きが私たちの暮らしや文化にどのような影響を与えたのか、さらにそれをどのようにして地域に活かしていくのかを、研究者とフリーディスカッションしながら考えます。この講座は「サイエンスカフェ形式」で実施します。

お申し込み手続きについて

「ひょうご講座2012」をお申し込みの際は、以下をよくお読みになった上で、所定の手続きをしてください。

申込方法

<ファクシミリ・郵便の場合>

ご希望の科目を選択し、裏面の「受講申込書」に必要事項を記載してください。

F A X 078-262-5122

郵便 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6階

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 学術交流センター 事業課

<インターネットの場合>

ひょうご講座のホームページに申込みフォームがあります。そこから直接入力が可能です。

ひょうご講座WEB <http://www.hyogo-al.jp/kouza/>

締め切り

- 各科目とも、開講1週間前まで受け付けます。
- 先着順で受け付け、定員になり次第、締め切ります。

受講料のお支払いについて

- 申込み受付後、「受講決定書」とともにお送りする、郵便局の「払込取扱票」で、期日までに受講料をお支払いください。現金持参によるお支払いはできませんのでご注意ください。
- 受講料は前払いしていただきます。ご入金後にご連絡は原則いたしません。
- 受講料振込後にキャンセルされる場合は、講座開始1週間前までに限り、ご指定の口座に受講料を返金します。(以降のキャンセルについては、受講料の返金はできませんので、予めご了承ください。)
なお、金融機関所定の振込手数料は、受講者のご負担とさせていただきます。
- 入金をもって、正式なお申し込みとなります。入金確認後「受講者証」を発送いたします。
受講日当日は、この「受講者証」をお持ちください。

その他

- 都合により、担当教員・テーマ等を変更する場合がございますので、予めご了承ください。

<お問い合わせ先>

T E L 078-262-5714 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 学術交流センター 事業課

月曜日から金曜日の9時～12時、13時～17時半(国民の祝日及び国民の休日を除く)

ひょうご講座2012受講申込書

【FAX送信先：078-262-5122】

ふりがな		生年月日	性別
お名前		大正・昭和・平成 年 月 日生(歳)	男・女
職 種	1 会社員 2 公務員 3 教員 4 自営業 5 家事専業 6 無職・定年退職 7 その他()		
自 宅	〒 -		
電 話	- -	FAX	- -
E-mail	@ <input type="checkbox"/> 急な連絡先は、Eメールのみでよい (休講等、急を要する際の連絡は、Eメールのみでよい場合、 <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。)		
受講経験	<input type="checkbox"/> 以前にひょうご講座を受講したことがある。 (過去にひょうご講座を受講された方は、 <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。)		

該当する申込欄にを入れてください。

申 込	科 目 名	開講日
<input type="checkbox"/>	混迷する世界経済の行方	9 / 4(火)
<input type="checkbox"/>	アジアの時代と日中関係	9 / 4(火)
<input type="checkbox"/>	伝統藝術の過去・現在・将来	9 / 6(木)
<input type="checkbox"/>	自然及び人工災害に接して：自然・科学・技術を考える	9 / 13(木)
<input type="checkbox"/>	兵庫・神戸を中心とした古代・中世史	9 / 7(金)
<input type="checkbox"/>	兵庫の大地と私たちの暮らし	9 / 14(金)

参考にご回答ください。この募集要項は、どこで入手されましたか？

- 主催者からのダイレクトメール
- 県・市町の施設()
- 生涯学習施設(いなみの学園など)
- 友人の紹介
- 参加したイベントで()
- その他()

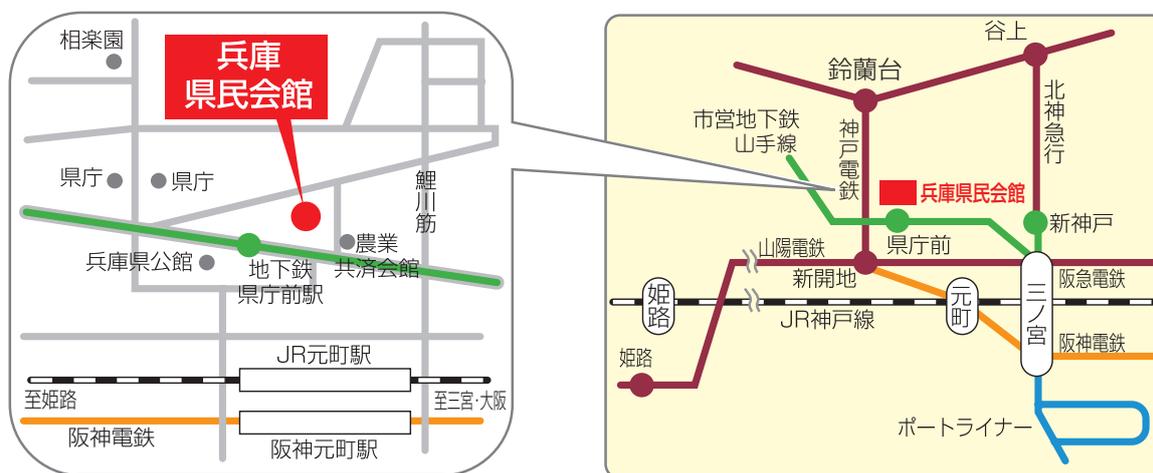
※ご協力ありがとうございました。

※本申込書に記載された個人情報、本事業の実施等に係るご連絡並びに今後本機構が主催・後援等を行う事業等のご案内にのみ使用いたします。

開催場所

兵庫県民会館

兵庫県神戸市中央区下山手通4-16-3 TEL.078-321-2131



- 神戸市営地下鉄・山手線「県庁前」駅下車、東出口1から右へ50m
- JR・阪神「元町」駅下車、北へ徒歩約7分

お申し込み・お問い合わせ先

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 学術交流センター 事業課

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号

人と防災未来センター 東館6階

TEL : 078-262-5714 FAX : 078-262-5122

E-mail : kouza@hyogo-al.jp

webで確認

ひょうご講座

検索

<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>